

## Gard Insight

# 中国でDDGSの変色に関するクレームが相次ぐ

こちらは、英文記事「[Wave of DDGS discoloration claims in China](#)」（2016年2月3日付）の和訳です。

Gardをはじめとする各P&Iクラブで、中国向けのDDGS（可溶性物質添加の乾燥蒸留穀物残渣）貨物の変色に関するクレーム件数が増加しています。こうした状況において、船主が船舶のアレストや拘留を避けるための担保として何百万ドルも支払わなければならない事態に遭遇する可能性があります。



### DDGS とは何か？

DDGS とは穀物を発酵させてバイオエタノールを生産する際に残る乾燥した固形残渣物です。DDGS には有用なタンパク質や食物繊維が含まれており、家畜用飼料の原料として利用されています。DDGS の生産過程には加熱処理が含まれる場合があり、色が濃い部分は過熱されたことを示していると言われていいます。色の差異は、種類の異なる穀物を混合することによっても起こり得ます。色の差異が品質<sup>1</sup>に与える影響についてははっきりしていません。

### 色の問題 — 中国では品質の指標

DDGS の品質を測る重要な要素はタンパク質と脂質の含有量です——しかしながら、中国の荷受人は色も栄養価の指標であるとみなします。明るい色の DDGS には割増価格を支払う用意があることさえあります。色は、ハンター-L（L は明度を表す）の色差計を用いて計測されることが多く、中国の荷受人はハンター-L の値が 50 を上回る DDGS（明るい色の DDGS）を要求しているものと思われます。

### クレーム

貨物の一部の色が他の部分よりも濃くなっている場合、中国の荷受人は、その部分は船上での過熱等によって損傷しているとみなしてクレーム請求してくる可能性があります。当該貨物が船積み時点で見掛け上、良好な状態にあったことを証明する無故障船荷証券が発行されている場合は、現地の裁判所において比較的簡単に船舶の差押え命令が得られるようです。クレームのほとんどが、米国ルイジアナ州からの積荷に集中しています。

### Gard の見解と推奨事項

貨物の問題は品質に関する、もしくは船積み前の原因によるものであったとしても、中国の地方裁判所は、船長は品質に問題のある貨物が船積みされないようにすべきであった、あるいは問題があることを船荷証券に記載しておくべきであったとの見解を示すことがあります。このような事態は、船荷証券が品質を証明するものでないにも関わらず、船長が通常見た限りでは問題のある貨物が含まれているかどうか分からない場合であっても起こります。しかし、以下の理由から、船長が貨物の不具合を発見するのは難しいと思われます。

- ・ 船積み作業は、埃が舞う環境や暗い中で、短時間で実施されることが多く、貨物のコンディションを見極めることが難しい。
- ・ 船長は貨物の専門家ではない。

<sup>1</sup> 品質については、US Grains Council の DDGS Handbook 「[Chapter 8: Is Color the Only or Best Indicator of DDGS Quality?](#)」（英文）をご覧ください。

- ・ (信用状による販売代金の減少を回避するために無故障船荷証券を必要とする) 荷送人は、船荷証券にリマークを加えることには反対するでしょう。また、それが DDGS の場合には、変色は品質の問題であって、DDGS の生産過程では当然生じる結果であると主張するでしょう。

中国に DDGS を輸送する際には、以下の措置を講じることを推奨します。

### 船積み

1. 荷送人の品質証明書の写しを入手する。
2. 通常の国際海上固体ばら積み貨物 (IMSBC) コード<sup>2</sup>の申告書と併せて、貨物の水分・油分の含有量を示した検査証書を荷送人から入手する。DDGS は IMSBC コードにおいてグループ C 貨物に分類され、含水量 13%未満かつ含油量 11%未満と規定されています。
3. IMSBC コードには、貨物を乾燥状態に保つ必要があること、および降雨時には船積み・荷揚げを行ってはならない旨が記載されています。含水量または含油量が高水準である場合は自己発熱を起こすリスクがあるため、明らかに湿っている貨物は船積みすべきではありません。
4. 濃い色の DDGS は船積みしないようにする。明るい色の DDGS のみ提供するように荷送人に要請する。その要請を荷送人が拒否した場合は、Gard にご連絡ください。現地サーベイヤーを手配いたします。
5. 熱による損傷がある、焦げている、明らかに外気温よりも高い DDGS は船積みしない。
6. 船積み時の貨物の写真を記録として残す。
7. 船荷証券に、「品質不明 (quality unknown)」などの但し書きや、準拠法は英国法であり、紛争が生じた場合には英国が仲裁・裁判管轄地である旨を盛り込む。あるいは、少なくとも、用船契約にそうした条項を盛り込む。

### 貨物の管理

IMSBC コードでは熱源から隔離して積み付けを行うことは要求されていませんが、過熱は変色を引き起こす可能性があります。したがって、以下のように対応するようにしてください。

1. 燃料油加熱システムは必要時のみ、かつ、通常の稼働温度の限度内で稼働させるようにする。
2. カーゴホールドの照明は、電源を切った上で絶縁しておく。
3. カーゴホールドを適切に換気し、ハッチは確実に密閉する。
4. 航海中は数日おきに貨物の温度を測る (安全に測定できる場合)。
5. 貨物管理のあらゆる側面 (燃料の温度や換気記録を含む) をしっかりと記録しておく。

### 荷揚げ

変色していることを理由に荷受人が拒絶した場合は、以下のように対応するようにしてください。

1. 現地サーベイヤーを手配しますので、直ちに Gard まで連絡してください。Gard 側でも変色貨物に関する専門家のアドバイスを入手し、代表サンプルの採取を手配します。
2. 荷受人が損害軽減措置を講じているかどうか常にフォローアップする。

---

<sup>2</sup> IMSBC コードの入手は [こちら](#)。

## 用船の場合

船主が中国で負った貨物賠償責任を用船者に求償できる場合があります。したがって、船主は用船者に事態を通知し、荷揚げサーベイに参加するよう呼び掛けてください。Gard は、用船者から逆担保を求めするための支援を提供することもできます。

船主は、中国向け DDGS の変色に関して免責・補償条項を用船契約に盛り込むか、用船者が濃い色の DDGS の船積みを指示した場合は補償状を入手できる場合があります。

用船者は、ある程度の変色は存在する可能性があり、必ずしも貨物全体に対してハンターL の明度が保証されるものではないことを基本売買契約で明確にしておくようにしてください。

## 中国における訴訟

中国で訴訟を起こされた場合は Gard までお知らせください。その対処方法について（少なくとも交渉上不利な立場にならないように）適切な助言をご提供いたします。

中国の裁判所は、外国裁判所の紛争解決条項を支持しない傾向にあります。しかし、早期段階であれば、荷受人・代位求償権所有保険者に対して、英国裁判地条項を無視して中国で法的手続きを継続しないことを求める差止命令を英国の裁判所から獲得できる場合があります。荷受人・代位求償権所有保険者がこの命令に従わなかった場合、罰金が科されるか、資産が差押えられることとなります。該当企業の取締役も収監される可能性があることから、荷受人・代位求償権所有保険者が英国で事業を行っている場合には、強力な対抗手段になるでしょう。

並行して、裁判・仲裁の手続きを英国で開始することも可能です。中国で生じた裁判関連の責任や費用等のうち、英国では生じなかったであろうとみなされるものに対しては、損害賠償請求を認める判決や裁定が得られる可能性があります。また、英国国外（「外国仲裁判断の承認および執行に関するニューヨーク条約」の当事国など）の資産に対しても措置を講じるよう試みることも可能です。

## まとめ

報道されているように DDGS の価格が下落していることも、こうしたクレームが増加している一因でしょう。変色自体が実際に中国の荷受人に損失をもたらすのかどうかは、まだ言及できる段階にはありません。本来は貨物の売買契約上の問題であるにもかかわらず、船舶が標的にされる傾向にあるようです。したがって、船主と各クラブが、こうした相次ぐクレームに対して、共同で対応することは当然のことなのです。

この Gard Insight の記事に関する質問やご意見は、ガードジャパン株式会社（Email: [gardjapan@gard.no](mailto:gardjapan@gard.no)）まで電子メールでお送りください。

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されております。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。